

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政 策 目 標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
重 点 的 取 組 2 公共交通機関を使いやすくする

担当課名	建設部 施設整備課
予算科目	会計 01 一般会計
	款 07 土木費
	項 02 道路橋りょう費
	目 02 道路橋りょう新設改良費

事業名	大野浦駅周辺道路整備事業	事業開始年度	平成 20 年度
	交通バリアフリー化の推進（ＪＲ大野浦駅周辺整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	大野浦駅周辺地区の市民 駅利用者 など	ＪＲ大野浦駅を使いやすくするために、駅周辺道路を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	ＪＲ西日本旅客鉄道株式会社 地域コミュニティ	- 事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明 - 用地取得，工事発注，現場管理，地元調整 - 施設整備完了後の施設管理

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

○ J R 大野浦駅周辺道路等（駅前広場等）の整備

交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため大野浦駅北口の駅前広場を整備する。広場面積は約1,200㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。また、駅前広場の整備に伴い支障となる J R 大野浦駅の駅舎を橋上化し、その南側へ公衆トイレを設ける。さらに、駅北口広場へのアクセス道路をあわせて整備する。暫定整備している駅南口広場については、自由通路の整備にあわせて整備完了の予定。平成26年度は、J R との協議を進め基本協定等の締結を行い工事委託（詳細設計）・補償契約を行う。

○自由通路の整備

駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。延長は約42m、幅員は3m、あわせてエレベーター2機を設置する。平成26年度は、J R との協議を進め基本協定等の締結を行い工事委託（詳細設計）・補償契約を行った。

○事業費関連

【歳入】

社会資本整備総合交付金(道路)117,810,000 円

道路整備事業債(合併特例債)154,400,000 円

公共施設等整備基金繰入金8,000,000 円

【歳出】

自由通路等詳細設計委託料15,045,000 円

J R 駅施設補償費265,127,000 円

事務費98,124 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	7,467,600	280,270,124		8,103,000
	国庫支出金	1,353,000	117,810,000		3,190,000
	県支出金				
	借入金（市債）	5,400,000	154,400,000		4,500,000
	その他(使用料など)		8,000,000		
	市（市税など）	714,600	60,124		413,000
	人件費（按分）B	0.77 人 6,534,220	1.00 人 8,574,000		
	総事業費 (A+B)	14,001,820	288,844,124		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	② 市民1人当たり	119	2,465		
	③				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	測量・調査・設計の進捗率	%	72	96	88	100	
	基本協定の締結			協定締結			